

広報



さ

Public Relations Magazine Sakuragawa

く

ら

が

わ



ひなまつりを彩る嫁入り道中

真壁のひなまつりで「チャグチャグ馬コ嫁入り道中」

3 2014
/ 1
No.203

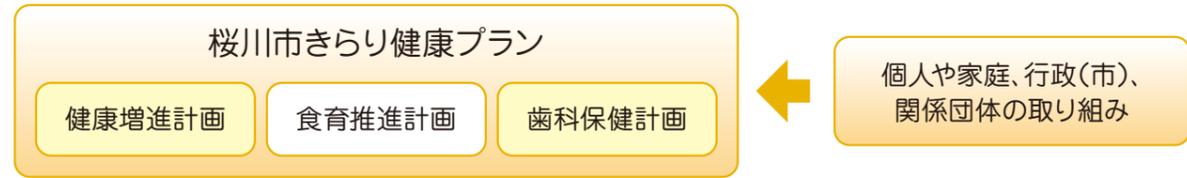
- きらり健康プラン
- 納付はお済みですか／水戸線羽黒駅舎の一部施設供用開始／文化財を守る磯部稲村神社で防火訓練
- 新中核病院 情報
- 歴史資料館だより No.54
- 桜川市自慢のこだまスイカ



1人ひとりが健康でいきいきと暮らせる桜川

きらり健康プラン

■問合先/健康推進課 (☎ 0296-75-3159 直通、☎ 58-5111・75-3111 代表)



健康増進と食育と歯科保健を一体化して推進

1人ひとりが生涯にわたって健康でいきいきと暮らせる社会の実現を目指し、市民の皆様が主体的に健康づくりに取り組み、きらりと明るい未来に向けて効果的に施策を進めていくための指針として、「健康増進計画(改定)」と新たに「食育推進計画・歯科保健計画」を含めた「桜川市きらり健康プラン」を策定しました。

計画の期間は、平成26年度から30年度までの5か年で、社会情勢の変化などによって、見直しが必要になった場合には、適切に見直します。

平成21年度に策定した健康増進計画は平成25年度に中間見直しを向かい、これまでの取組を通して改善が必要と思われる内容や新たに生じた課題、整備された法令など、健康づくりを取り巻く環境の変化を踏まえ、5年間に取組む目標を改めて設定し、「健康増進計画(改定)」を行いました。また、食育基本法施行にともない「食育推進計画」を策定し、さらに、乳幼児から生涯にわたる歯・口腔の健康づくりを積極的に推進するために「歯科保健計画」を策定しました。

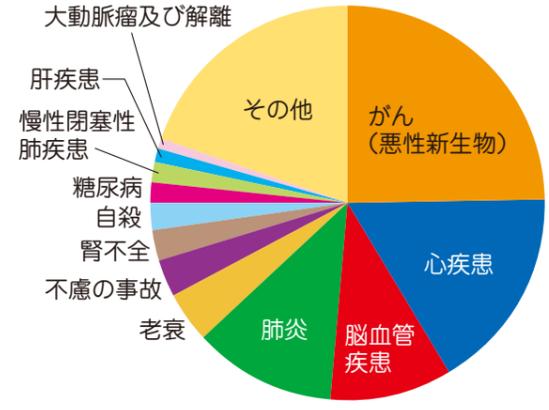
きらり健康プラン
市民が、健康への意識を高め、きらりと明るい未来に向けて主体的に健康づくりに取り組み、きらりと明るい未来に向けて効果的に施策を進めていくための指針として、健康増進計画(改定)と新たに「食育推進計画・歯科保健計画」を含めた「桜川市きらり健康プラン」を策定しました。

市民の健康づくりのため、家庭・学校・関係団体および行政などが一体となって支援します。

生活習慣病ってどんな病気?
日常生活習慣に起因するがん、心疾患、脳血管疾患および糖尿病などの病気のことで、不健康な生活習慣が続くと発症します。

【不健康な生活習慣】
・食塩・脂肪の摂りすぎなど
・運動不足
・過度のストレス
・睡眠不足
・喫煙
・過度の飲酒

H23年度桜川市総死亡に占める死亡原因の割合



なぜ、生活習慣病予防が必要なの?
本市の死亡原因の約5割が生活習慣病(円グラフ参照)で、要支援・要介護が必要となる最も多い原因も生活習慣病です。

適切な生活習慣を心がけることで予防できます
健康づくりの主役は市民の皆様です。一人ひとりが自らの健康に関心を持ち、生活習慣を見直し、生活習慣の改善に主体的に取り組むことが大切です。

健康増進計画(改定)

計画策定の趣旨

日常生活習慣に起因する生活習慣病が増え続けている。疾病の早期発見や治療に努めるとともに、健康の保持・増進と疾病の発症予防する「二次予防」としての健康づくりがますます重要となり、総合的な健康づくりが求められています。

このことから、本市では、平成21年3月に「桜川市健康増進計画(平成21年度～平成30年度)」を策定し、誰もが生涯を通して健やかに暮らすことができるよう取り組んできました。そして、本計画は平成25年度に中間見直しを向かい、改定しました。

計画の基本理念

一人ひとりが主体となり、健康に対する意識の向上と健康づくりの取り組みを支援するための具体的な指針となるものです。

食育推進計画

計画策定の趣旨

健康で豊かな人間性を育むためには、一人ひとりが食に関する知識を習得し、健全な食生活を実践していくことが重要となります。

本市は、生活習慣病の罹患率や死亡が多く、その原因となる肥満が国や県と比べ多い現状です。

そこで、市民の皆様が「食」について関心や感謝の心、そして郷土の農作物や食文化に愛着を持ち、自ら心身の健康を守り、心豊かに生活できるように、一人ひとりが食育の実践者となり、関係団体による自発的かつ連携した食育を継続して推進する計画を策定しました。

計画の基本理念

市民の皆様が食育の「実践」を通じて、豊かな人間性を育み、健康で長生きするとともに、活力あふれる地域社会の実現を目指します。

歯科保健計画

計画策定の趣旨

歯や口腔の健康は、豊かな人生や生きがいのある充実した生活を送るための基礎となるものです。

歯や口腔の健康づくりは従来の、単にむし歯予防という考え方から生活習慣病予防など全身の健康づくりに繋がるといった考え方に変わってきています。

むし歯予防に加え、生活習慣病予防の視点から歯周病予防を行うことで歯の喪失を抑制し、市民の皆様が主体となり、生涯にわたる一貫した歯・口腔の健康づくりを行えるよう、新たに計画を策定しました。

計画の基本理念

一人ひとりが歯と口腔の健康について見つけ直すことが必要です。各ライフステージに応じた歯と口腔の健康づくりを関係機関と連携し計画的に進めていきます。

納付はお済みですか

「納め忘れがなく安心して確実な口座振替をご利用ください」
市税の納期内納付にご協力ください

3月末を持ちまして、市税などの平成25年度通常納期限が到来します。市税などの納付は納期内の自主納付が原則となりますので、平成25年度の納税通知書などをご確認頂き、納め忘れのある場合は早急に納付してください。

納期限が過ぎた場合には、督促状や催告書が発送されます。これらには多くの経費がかかります、その経費は市の税金で負担することになってしまいます。

また、市税が納められたことを確認できる通知書が金融機関から市に届くまで(金融機関によっては2〜5日)日数がかかります。発送直前まで納付状況の確認を行ってはいませんが、発送日と納付日が近い場合は行き違いで届いてしまうこともあるということをご留意頂き、その際は破棄してください。

市職員による納税一斉推進を行いました
推進結果につきましては次

納税一斉推進の結果 (平成25年12月20日現在)

種類	金額(円)
市県民税	3,188,600
固定資産税	2,061,600
軽自動車税	557,700
国民健康保険税	3,897,800
介護保険料	377,750
後期高齢者医療保険料	543,400
督促手数料	67,600
延滞金	208,200
合計	10,902,650

今後とも市税などの納め忘れがないように、また、納期内納付にご協力をお願いいたします。

口座振替による納税がもっとも確実です。ぜひご利用ください。

■問合先

- ・市県民税・固定資産税・軽自動車税/収税課(☎0296-5815621 直通)
- ・国民健康保険税・後期高齢者医療保険料/国保年金課(☎0296-7513125 直通)
- ・介護保険料/介護長寿課(☎0296-7513158 直通)

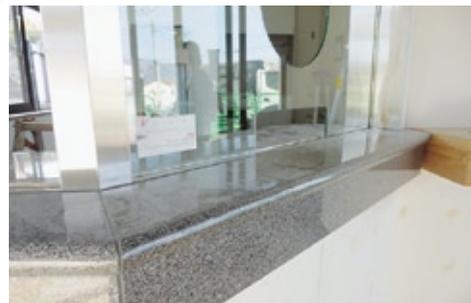
水戸線羽黒駅舎の一部施設供用開始

2月25日(火)

JR東日本水戸支社では、水戸線羽黒駅の駅舎改築工事を平成25年11月から進めていきましたが、2月25日(火)から改札や出札などを含む一部施設について、供用が開始されました。

新駅舎は、床面積が41㎡の鉄骨平家建て、地場の特産である羽黒青糠目の御影石が、カウンターや駅名標、待合室の床の一部に使用されています。

さらに今回、地域から愛される駅舎を目指し、多くの通学生の皆さんが当駅を利用している、岩瀬日本大学高等学校の美術部に協力を依頼。部



駅カウンターに地場特産の御影石が使用されています。



作業中。全体完成は、3月末予定です。

員の皆さんがデザインした、桜のモチーフを掘り込んだ幅木と呼ばれる部材が、待合室の壁と床の境界部に設置される事になっています。

長い間親しまれてきた旧駅舎の面影を残しながらも、御影石や桜など、地域の魅力を活かした駅舎になります。

また、併せて実施していた乗降ホームの嵩上げ工事も完了し、電車に乗り降りする際の段差が解消され、高齢者やお体の不自由な方にも優しい駅となりました。

なお、待合室も含めた施設全体の完成は、3月末になる予定となっています。

文化財を守る 磯部稲村神社で防火訓練

1月19日、磯部稲村神社(磯部地区)で第60回文化財防火デーにともなう防火訓練が行われました。

この防火訓練は、文化財の防火体制の整備や強化を図るとともに、文化財愛護思想の普及と地域ぐるみの防火・防災意識の高揚を図るため、1月26日の文化財防火デーに併せて実施するもので、市内の指定文化財がある施設を対象に、毎年行っています。

当日は、磯部稲村神社、桜川消防署、桜川市消防団、地域住民の皆さんが参加し、避難誘導、文化財の搬送、消火活動などの訓練を行いました。



社務所からの出火を想定し、消火活動を行う桜川消防署員・消防団員の皆さん

警察署・交通安全協会・安全運転管理者協議会 のぼり旗寄贈

平成25年12月、桜川警察署（飯塚武署長）、交通安全協会（榎本保会長）と安全運転管理者協議会（白田唯雄会長）から、登下校時の交通事故防止のため市内小中学校へ交通安全のぼり旗が寄贈されました。全国的に登下校時の交通事故が多発して、一瞬の油断が大きな事故の原因となっています。

こうした中、運転手の方々がのぼり旗を見て、思いやりのある運転を心がけ、児童・生徒の命を奪うような悲惨な交通事故が発生しないことを祈念して作成されました。



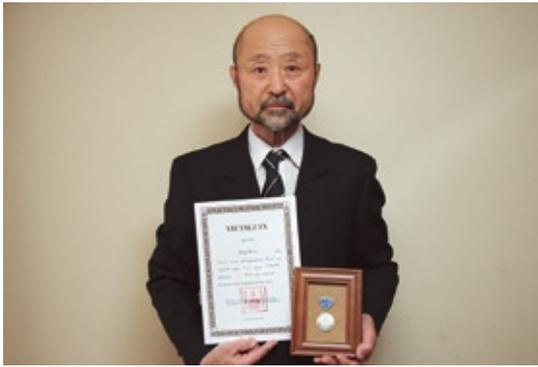
大塚市長へのぼり旗を手渡した桜川警察署 飯塚武署長、写真中央右、交通安全協会 榎本保会長、写真左、安全運転管理者協議会 白田唯雄会長、写真右

桜井地区の多田尚克さんモンゴル国から勲章（有功章）受章

平成25年11月に、県営ライフル射撃場の管理・運営を主体として活躍している多田尚克さんが、ウランバートル市でモンゴル国大統領から有功章を受章しました。

多田さんは、1990年頃からモンゴルのライフル射撃競技の選手指導や競技用具の提供などの活動を続け、さらには、北京やロンドンオリンピックに導くなど、優秀な選手を育て同競技の礎を築いてきた功績が認められたものです。

受章した同氏は、「授与式を大統領府から連絡を受けた時はとにかく驚いた。嬉しさよりも重責を感じる」と話していました。



モンゴル国のライフル射撃競技に貢献し、有功章を受章した多田尚克さん

広沢農園から園児たちにバナナ160本寄贈

2月に、ザ・ヒロサワ・シティの広沢農園（筑西市茂田地区）が、市内の公立幼稚園に160本のバナナを寄贈しました。

同農園では、約300本のバナナの木をハウスで栽培。サンジャクバナナという品種で、開花から結実・完熟まで、約半年かかります。

幼稚園で行われた園児たちのチョコバナナ作りに合わせて、バナナを届けた広沢商事株式会社営業課長の江田文雄さんは、「バナナを生きた教材として役立ててほしい。ぜひ、農園に社会学習にも来ていただきたい」と話していました。



バナナを届けた広沢商事株式会社の江田文雄さん（写真後段中央）と採りたてバナナに興味津々の幼稚園児たち

坂口登さん 茨城県技能士会連合会長感謝状受賞

平成25年11月、茨城県庁で開催された第43回茨城県職業能力開発促進大会において、石彫工の坂口登さん（真壁町亀熊地区）に茨城県技能士会連合会長感謝状が贈られました。

同氏は、伝統的技法と現代の加工技術を融合させた優れた石彫品などを製作しています。多年にわたる技能士会活動を通して後継者の育成に尽力されるとともに、茨城県の技能士会活動にも大きく貢献されていることから、今回の受賞となりました。

また、平成25年10月にも「第22回岡崎ストーンフェア」に石彫作品を出展され、岡崎商工会議所会頭賞を受賞されました。



技能士会活動に貢献し、茨城県技能士会連合会長感謝状を受賞した坂口登さん



**本木地区の飯島百合子さん
建物火災現場で人命救助**

1月23日、大和庁舎で桜川市消防表彰規程に基づく、功労者市長表彰と筑西広域消防本部消防長表彰の表彰式が行なわれ、本木地区の飯島百合子さんに大塚市長と柴消防長から感謝状が授与されました。

飯島さんは、平成25年11月18日15時頃、自宅で作業をしていると、近所から「火事だー」という大きな声が聞こえ、近くの住宅からは黒煙が出ていました。急いで駆け付けると、延焼している家屋の中に男性がいて聞き、近所から戻った男性の家族と一緒に救助。「お役に立てて、本当によかった」と同氏は話していました。



**桜川市ナイスハート児童生徒
作品展**

2月7・8日、真壁伝承館を会場に、市内小中学校の特別支援学級に在籍・通級する児童生徒による作品展「桜川市ナイスハート児童生徒作品展」が開催されました。

この作品展は、日頃の学習の成果を発表することで、子どもたちに自信と希望を与え、併せて特別支援教育に対する地域社会の理解を深めてもらうと、桜川市教育研究会が主催し毎年開催されているものです。

会期中は、児童生徒の習字・絵画・デザイン・工作・木工・金工・陶芸など約100点が出展され、約250人の方々に鑑賞していただきました。

和の明かりを届ける仲町商店会、手づくり行燈で活性化

2月4日から始まった「真壁のひなまつり」に合わせ仲町商店会(増田広会長)が、来訪者に古い町並みの風情を堪能してもらえよう行燈を飾りました。

これは、仲町通りに並ぶ商店や銀行などで構成されている同商店会の活性化を図るために、昨年12月から休日を利用し21店舗の関係者が、手作りで行燈30個を作製。店先などにある行燈は、高さ60cm・幅36cmで木製の箱形をしています。

増田会長は、「デザインは、会員と試行錯誤した。趣のあるまちに、少しでも役に立った気がします」と話していました。



猿田小で食育教室「市産ユメシホウをピザやひつまみ汁で食べよう」

2月6日、猿田小学校で、地元桜川市産のパン用小麦・ユメシホウを原料に、ピザやひつまみ汁(すいとん汁)を作って食べる食育教室が今年も行われました。

これは子どもたちに、地元桜川市にパン用小麦・ユメシホウがあることを知ってもらうことと、手作りの食事を楽しんでもらおうと、桜川市新規作物研究会主催で、猿田小学校を対象に実施されたものです。

同研究会は、この小麦粉を市の特産物にしようと、パンやうどんなどの加工品作りや直売所やイベントでの販売をするなど、市の特産品として普及に取り組んでいます。



5・6年生13人が作った熱々のひつまみ汁を美味しく食べる4年生の子どもたち

**桃山中 細谷大雅さん、日向千帆さんが
県選抜で全国バレー大会出場**

平成25年12月、大阪市で行われた全国都道府県対抗中学校バレーボール大会に、茨城県選抜チームに選ばれた桃山中学校3年の細谷大雅さん(男子の部)、日向千帆さん(女子の部)が出場しました。結果は、男子予選敗退、女子ベスト16位でした。

大会を経験した細谷さんと日向さんは、「大きな舞台で、良い経験ができました」「たくさんの人たちに出会えて、刺激になって、感謝しています」とそれぞれ話していました。

高校でもバレーを続けるといふ2人。今後も活躍が期待されます。



全国バレーボール大会に出場した細谷大雅さん(写真中央)、日向千帆さん(写真左)と桃山中学校市村尚夫校長(写真右)

**野球少年たちに、
投球障害の調査・指導**

1月19日、羽黒小学校で(公社)茨城県柔道接骨師会の投球障害調査班の呼びかけで、岩瀬地区の学童野球スポーツ少年団39人を対象に、ボランテアによる投球障害調査・指導が行われました。

これは、野球少年たちが快適に野球活動ができるようにサポートするもので、肩肘などの故障の予防と早期発見に役立ちます。

当日は、市内接骨院の菊池尚久先生を含む、県西支部に所属する5人の接骨院の先生が、参加した野球少年たち一人ひとりに問診を行い、徒手検査、超音波(エコー)による検査、投球指導が行われました。



学童野球スポーツ少年団の子どもたちを
検査・指導する接骨院の先生たち

**下水道促進週間コンクールで
堀米雅志さん県知事賞特選**

1月23日、茨城県庁において、平成25年度茨城県下水道促進週間コンクールの標語部門で、雨引小学校4年生の堀米雅志さんの作品が県知事賞特選を受賞しました。

このコンクールは、県民の「下水道」への理解と関心を深めると共に普及促進を目的に毎年9月10日の下水道の日を含む「茨城県下水道促進週間」に、おもに小・中学生を対象にして実施されているものです。

応募数11,669点の中から選ばれた堀米さんの作品「下水道 未来へつなぐ水の旅」には、「下水道の普及が水資源を未来へ繋ぐ」という思いが込められています。



県知事賞特選を受賞した雨引小4年生の堀米雅志さんと受賞のお祝いにかけたハッスル黄門さん

**ダメ。ゼッタイ。
桃山中で薬物乱用防止教室開催**

平成26年2月5日、桃山中学校で真壁ライオンズクラブ(潮田新正会長 主催)の「薬物乱用防止教室」が開催されました。

これは、思春期の中学生に薬物乱用の恐ろしさを理解してもらい、絶対にかかわらないようにするが目的です。

当日は、1年生約150人が参加。一回でも使用すると依存してしまう薬物の恐ろしさを「ダメ。ゼッタイ。」をキーワードに、講話や動画などで説明しました。

潮田会長は、「薬物は成長を阻害する怖いもの。Noと言える人に育って欲しい」と話していました。



桃山中生徒たちに薬物の怖さを説明する真壁ライオンズクラブ講師 阿部田珠江さん

健康ガイド

Health guide
 〈問合先〉健康推進課
 ☎0296-75-3159(直通)
 ☎58-5111・75-3111(代表)

4月分

乳幼児健診・育児相談

- 岩瀬・大和地区の方**
- 1歳児健診
 - ・対象/H25・4月生
 - ・日程/4月21日(月)
 - ・会場/岩瀬福祉センター
 - ・受付時間/13時～13時20分
 - ・持参/母子健康手帳、送付した問診票、バスタオル
 - 1歳6か月児健診
 - ・対象/H24・8月、9月生
 - ・日程/4月15日(火)
 - ・会場/岩瀬福祉センター
 - ・受付時間/13時～13時20分
 - ・持参/母子健康手帳、送付した問診票、バスタオル

真壁地区の方

- 1歳6か月児健診
 - ・対象/H24・7月・8月・9月生
 - ・日程/4月17日(木)
 - ・会場/真壁保健センター
 - ・受付時間/13時～13時20分
 - ・持参/母子健康手帳、送付した問診票、バスタオル、歯ブラシ(子ども用と仕上げみがき用)
- 3歳児健診
 - ・対象/H23・1月・2月・3月生
 - ・日程/4月23日(水)
 - ・会場/真壁保健センター
 - ・受付時間/13時～13時20分
 - ・持参/母子健康手帳、送付した問診票、バスタオル、歯ブラシ(子ども用と仕上げみがき用)、コップ、尿目と耳のアンケート用紙

成人健康づくり

- 総合健康相談
 - ・対象/乳幼児、高齢者
 - ・日程/4月10日・24日(いずれも木曜日)
 - ・会場/健康推進課(岩瀬庁舎)、真壁保健センター

精神保健

- こころの健康相談(要予約)
 - ・日程/4月14日(月)
 - ・会場/岩瀬福祉センター
 - ・開催時間/13時～15時
 - ・内容/精神保健福祉士が担当し、秘密は厳守されます。

献血

- 4月23日(水)
 - ・会場/岩瀬中央公民館
 - ・受付時間/9時30分～15時30分

休日応急診療医療機関

- 4月6日(日)
 - ・医療機関名/阿部田医院
 - ・住所/真壁町亀熊123-1
 - 1 連絡先/☎0296-551-0305
- 4月13日(日)
 - ・医療機関名/錦木クリニック
 - ・住所/加茂部4-1
 - 連絡先/☎0296-761-3131

4月20日(日)

- ・医療機関名/根本医院
- ・住所/真壁町真壁202
- 連絡先/☎0296-551-0027

4月27日(日)

- ・医療機関名/千勝医院
- ・住所/本木1602-5
- 連絡先/☎0296-581-5010

4月29日(火)

- ・医療機関名/つくし野クリニック
- ・住所/真壁町椎尾2022
- 連絡先/☎0296-201-7755

※当番医は、変更になる場合がありますので、休日の場合は各庁舎の日直、または市ホームページにて確認のうえ受診してください。



3月は自殺防止月間です

「自殺防止つながる“わ”・ささえる“わ”茨城いのちの絆キャンペーン」実施中!

県内の1年間の自殺者数は約700人(毎日2人)という深刻な状況です。つらいこと・苦しいことはひとりで抱えず、悩みを相談しましょう。あなたには相談できる人がいます。

相談機関
 ◆茨城いのちの電話
 ・つくば0299-8551-1000(毎日24時間)
 ・水戸029-255-1000(毎日13時～20時)
 ・0120-1738-556

4月1日から医療福祉費受給者証が新しくなります

国保年金課
 延長(平日)/3月20日(木)、17時30分～19時30分(申請場所は、大和庁舎のみ)
 休日/3月23日(日)、9時～16時(申請場所は、大和庁舎のみ)

■申請場所/国保年金課(岩瀬庁舎)、総合窓口課(大和・真壁庁舎)
 ■持参品/お子様の保険証、印鑑(認印)、医療福祉費受給者証、所得証明書(転入の方など)
 ■その他/4月1日からは新しい受給者証と保険証を病院の窓口にて提示してください。
 ■問合先/国保年金課 医療年金グループ(☎0296-751-3125直通、☎581-5111・751-3111代表)

■申請日時
 平日/3月18日(火)から8時30分～17時15分

延島クリニック

内科・外科・消化器内科・循環器科・呼吸器科・耳鼻咽喉科
 ☎0296-58-5058

入所・短期入所・通所リハビリテーション
 介護老人保健施設
さくらがわ
 ☎0296-20-6071
 URL: <http://www.douaikai.or.jp>

介護のご相談は
 在宅介護支援事業所
さくらがわ
 ☎0296-20-6071

無料法律相談会開催のお知らせ
 日時: 3月23日(日) 9:00～17:00
 場所: 弁護士法人 萩原総合法律事務所
 予約制となります。どなたも無料でご相談いただけます。

交通事故相談会開催のお知らせ
 日時: 3月22日(土) 9:30～19:00
 場所: 弁護士法人 萩原総合法律事務所
 予約制となります。どなたも無料でご相談いただけます。

弁護士法人 萩原総合法律事務所
 茨城県弁護士会所属 弁護士 萩原 慎二
 茨西市乙828番3 SATOHビル2階(JR下館駅南口徒歩30秒)
 ☎0296-48-8875 (萩原総合 陸奥)
 (月～金 9:00～12:00、13:00～17:30)

新中核病院情報

■問合せ先／企画課 ☎58-5111・75-3111、内線1272

今回は、主な死因別の死亡率(表1)、搬送元別・搬送先別救急搬送件数(表2)のデータを元に、桜川市に關係する医療の現状をお伝えします。

表1 主な死因別死亡率(平成23年)

二次保健医療圏	悪性新生物		心疾患		脳血管疾患		肺炎	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
筑西・下妻保健医療圏	782	2.9	506	1.9	368	1.4	353	1.3
うち桜川市	154	3.5	104	2.3	62	1.4	73	1.6
水戸保健医療圏	1,375	2.9	727	1.5	644	1.4	500	1.1
日立保健医療圏	839	3.2	496	1.9	366	1.4	379	1.4
常陸太田・ひたちなか保健医療圏	1,007	2.7	712	1.9	498	1.4	470	1.3
鹿行保健医療圏	781	2.8	488	1.8	377	1.4	324	1.2
土浦保健医療圏	720	2.7	406	1.5	303	1.1	274	1.0
つくば保健医療圏	725	2.2	477	1.5	262	0.8	280	0.9
取手・竜ヶ崎保健医療圏	1,239	2.6	648	1.4	421	0.9	481	1.0
古河・坂東保健医療圏	669	2.9	384	1.7	238	1.0	219	0.9
茨城県全域	8,137	2.8	4,844	1.7	3,477	1.2	3,280	1.1
全 国	357,305	2.8	194,926	1.5	123,867	1.0	124,749	1.0

※死亡率とは、一定人口に対する、その年の死亡数の割合のことで、人口1,000人当たりの死亡数です。

表2 搬送元別-搬送先別救急搬送件数(平成24年)

搬送元(地区)	搬送先(医療機関)	件数	割合(%) (地区別)	割合(%)
岩瀬地区	県西総合病院	107	30.6	12.2
	協和中央病院	92	26.4	10.5
	茨城県立中央病院	86	24.6	9.8
	自治医大附属病院	10	2.9	1.1
	その他	54	15.5	6.2
	小 計	349	100.0	39.8
大和地区	協和中央病院	45	28.5	5.1
	県西総合病院	44	27.8	5.0
	筑波メディカルセンター病院	20	12.7	2.3
	茨城県立中央病院	18	11.4	2.1
	その他	31	19.6	3.5
	小 計	158	100.0	18.0
真壁地区	協和中央病院	107	28.9	12.2
	筑波メディカルセンター病院	78	21.1	8.9
	県西総合病院	68	18.4	7.8
	筑波記念病院	47	12.7	5.4
	茨城県立中央病院	17	4.6	1.9
	筑波大学附属病院	16	4.3	1.8
	その他	37	10.0	4.2
	小 計	370	100.0	42.2
総 計		877		100.0

それぞれ茨城県全域よりも高い状況です。

また、搬送元別・搬送先別救急搬送件数(急病)については、北部の岩瀬地区や南部の真壁地区については、庁舎から自動車で40分前後の位置に高度急性期医療(3次救急)を提供する茨城県立中央病院や筑波メディカルセンター病院などが所在しているため、これらの病院が医療圏外の病院にもかかわらず搬送件数が多い状況にあります。

このことは、近隣の高度救急医療機関が充実しているという反面、圏域外の病院へ頼

っている状況であると言えます。

筑西・下妻保健医療圏では、特に急性期の脳血管疾患、心疾患での死亡率が高い(表1)状況であるとともに、圏域内で救急対応できる病院が少ないことから、新中核病院の整備が求められてきたところです。

一方、県西総合病院は、医療提供の大きな課題である医師確保、施設の老朽化などの問題はありますが、救急搬送件数の25%に対応している現状から、地域にとって重要な医療機関であることが分かります。

歯科 小児歯科 インプラント 床矯正
(自由診療 1歯20万円～) (自由診療 9万円～)

歯科用CTあり(撮影料19,800円～)

やなぎだ歯科
YANAGIDA DENTAL CLINIC

■診療時間 / 午前9:00~12:30
午後2:30~7:00

■休 診 日 / 木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

歯科医師 柳田佳代子 柳田充康

桜川市西飯岡539-4 坂戸小学校正門前
<http://www.yanagida-dc.com> ☎0296-76-3700

企画・デザイン・カラー
カレンダー・名刺・ハガキ・ゴム印

Y.P (有) 吉原印 刷

真壁町真壁230(高上町通り)

TEL(0296)55-0123 FAX(0296)54-1823
E-mail y-print@agate.plala.or.jp

歴

史資料館だより



No.54
教育委員会文化財課
文化財グループ
(☎58-5111・75-3111 代表)

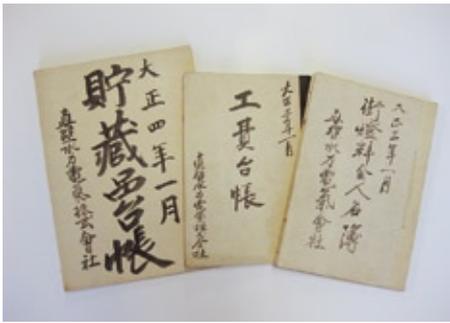
「地域を照らした電気の世界」

桜川市内にかつて水力発電所があったことをご存知でしょうか。

今から約100年前の明治44年(1911)に工事を始め、大正2年(1913)に事業を開始したその発電所は、市の南東部、真壁町田の山口地区にあり、地名をとって「山口発電所」とも呼ばれていました。建物そのものはすでに失われてしまいましたが、貯水池や水路など、関連する施設の一部は今も山中に残されています。



貯水池跡地に残る記念碑



真壁水力電気株式会社の帳簿類

発電所を建設・運営していたのは「真壁水力電気株式会社」という企業で、社長や役員には当時の真壁周辺の有力者が名を連ねていました。当初は真壁の中心市街地と山口地区だけに電気を供給していましたが、しだいに樺穂村・雨引村(現桜川市)、柿岡村・小幡村・葦穂村(現石岡市)

などにも範囲を広げていったようです。

明治11年(1878)に東京虎ノ門で日本最初の電灯が輝いて以降、全国で急速に電灯が普及していきましたが、桜川市内ではこの水力発電所により初めて電気の明かりが点されたのです。

一方、岩瀬地区では大正3年(1914)に「西茨城電気株式会社」が開業しています。この会社は自前の発電所を持つてはいませんが、栃木県の下野電力と提携して、日光発電所から受電した電気を供給してました。

こうして100年前の桜川市を照らし始めた電灯は、当時一般的であったロウソクや石油ランプよりも高価なものでしたが、比較にならないほどの明るさで、火事の心配が少なく、掃除が簡単なことなどと合わせて、瞬く間に広まっていったようです。

鎌倉街道ウォーキング「桜川市の古道・鎌倉街道」(再掲載)

今年度のまちづくりセミナーで学んだ「桜川市の古道・鎌倉街道」を歩きます。

■日時 / 3月23日(日)、10時～12時

■集合場所 / 岩瀬中央公民館

■コース / 青木地区の足利橋

↳ 岩瀬駅周辺 ↳ 上城地区の橋本城下

■講師 / 文化財課職員

■定員 / 先着30名

■参加費 / 無料

■問合せ・申込先 / 文化財課

(☎58-5111・75-3111、内線3222)

さて、歴史資料館では、こうした「電気」の歴史についての企画展を、平成26年度の秋に計画しています。東日本大震災以降、重要な問題として再認識されている「電気」について、地元に残された資料をもとに考えてみるきっかけになれば幸いです。

現在、電気や発電所に関連する資料を調査・収集しています。昔の書類や古い写真などをお持ちの方は、是非ご連絡ください。

勉強がらくになるのは公文式!

はじめよう!

KUMON



ぜひ一度、教室を見に来てください。

真壁中央・十里・明野ピーススファア教室
代表 0296-57-2969
真壁中央: 桜川市真壁町田52-4
乳幼児教室
小学生教室
中学生教室
高校生教室

古橋伸夫税理士事務所

TKC

～お客さまに 豊かさと繁栄を～

桜川市真壁町桜井765-2

TEL 0296-54-1540

Homepage <http://www.furuhashikaikai.com>

大和中央公民館

〈児童図書〉

あしたえんそく!らんらんらん
ちゅーちゅー
タイムカプセル
6わのからす
あいうえおべんと

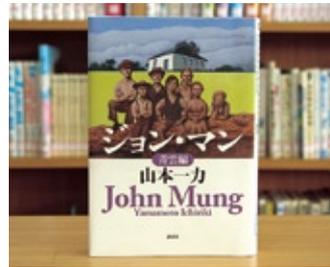
武田 美穂 作・絵
宮西 達也 作・絵
おだ しんいちろう 作/こば ようこ 絵
レオ・レオーニ 作・絵
山岡 ひかる 作・絵

〈一般図書〉

幸福な生活
疾風ロンド
花のベットでひるねして
昭和の犬
はじめてのベランダガーデン

百田 尚樹 著
東野 圭吾 著
よしもと ばなな 著
姫野 カオルコ 著
山元 和実 監修

【今月のお薦め本】



ジョン・マン 青雲編
山本 一力 著

貸出期間▼2週間(1人5冊まで)
開放時間▼9時~17時
休館日▼月曜日・祝日
問合せ先▼02965817117

岩瀬中央公民館

〈児童図書〉

ラ・プッツン・エル 6階の引きこもり姫
おとのさま、でんしゃにのる
ツン子ちゃん、おとぎの国へ行く
はやくちまじょうてんがい はやくちはやあるきたいがい
2歳のどれ?クイズ のりもの

名木田 恵子 著
中川 ひろたか 作/田中 六大 絵
松本 祐子 作/佐竹 美保 絵
林 木林 作/内田 かずひろ 絵
榊原 洋一 監修

〈一般図書〉

月と太陽
失敗屋ファーザー
こわせない壁はない 人生が新しくなる33の心得
大人がもう一度はじめる 将棋入門
おでかけニット&お部屋ニット

瀬名 秀明 著
樋口 卓治 著
鎌田 實 著
加藤 一二三 著
日本ヴォーグ社 発行

【今月のお薦め本】



ぼくたちの勇気
漆原 智良 編著/進藤 かおる 画

貸出期間▼2週間(1人5冊まで)
開放時間▼9時~17時
休館日▼月曜日・祝日
問合せ先▼02967510344

真壁伝承館 真壁図書館

〈児童図書〉

こころのふしぎ なぜ?どうして?
72時間生きぬくための101の方法
あいさつ
ちいちゃんのかけおくり
ころわんが はる みっけ!
津波!!命を救った稲むらの火

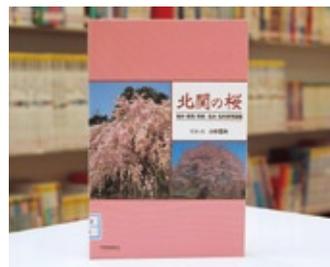
村山 哲哉 監修
夏 緑 著/たかおか ゆみこ 絵
いもと ようこ 作・絵
上野 紀子 絵/あまん きみこ 作
黒井 健 絵/間所 ひさこ 作
高村 忠範 文・絵

〈一般図書〉

現役税理士が語る ダマシの手口と対策
酒井式 肩こり・腰痛が治る 体の動かし方
30分で4品できる 月~金夕ごはんメニュー
共震
残穢
天使の枢

小川 哲夫 著
酒井 慎太郎 著
東京ガス「食」情報センター 編
相場 英雄 著
小野 不由美 著
村山 由佳 著

【今月のお薦め本】



北関の桜
小杉 国夫 写真・文

貸出期間▼2週間(資料合計:1人10冊まで)
開放時間▼平日10時~18時 土・日曜日9時~17時
休館日▼月曜日・祝日
問合せ先▼02962318525

無料体験レッスン

コース	対象年齢	開催日時
おとのおもちゃばこ	H24.4~25.3生	4/7(月)・13(日) 10:00
赤りんごコース	H23.4~24.3生	4/7(月)・13(日) 11:00
おんがくなかよし	H22.4~23.3生	4/12(土)・13(日) 13:00 19(土) 14:00, 26(土) 15:00
幼児科	H20.4~22.3生	4/12(土)・13(日) 14:00 19(土) 15:00, 26(土) 13:00
J S基礎コース	小学生1年生以上	4/12(土)・13(日) 15:00 19(土) 13:00, 26(土) 14:00

※「下館駅南センター」が会場です。事前にお申し込みください。

コンドー楽器 ☎0296-22-4380 火曜定休

桜川市内
週刊誌・月刊誌
配達いたします

飲食店、美容室、理容室、歯科、病院など、お客様の待ち時間に読む本などができます。定期購読も承っております。お気軽にお電話ください。

ムラカミ書店
桜川市真壁町真壁198 TEL0296-55-3160

文芸 さくらがわ

俳句

〔桜川市若瀬「秋」俳句会〕

遠富士や常野を画す片時雨	小林 啓治
祠までつづく林道山眠る	萩原 勲彦
初暦赤で書き込む誕生日	三代みちよ
寒紅梅道行く人を見送りぬ	入山ひろ子
節分会鬼のかぶれる人の面	細谷 充女
老いの身の時々気負ふ冬帽子	若色寿美女
近道にふと気付きたる路の藁	金田とう女
後手にしめる障子や隙間風	永瀬 ちい
古の和歌口ずさみ若菜摘む	齋藤 みよ
佇めば寒月光は胸を刺す	渡部千恵子
年豆を炒りつつ齢にこだはりぬ	萩原きしの

〔茂山俳句会〕

老いてこそ願ふことあり初詣	皆川 一女
寒の水嘸んで胃の腑へ落しけり	鈴木 つぎ
また少し老けて揃いし初句会	植田 祥雲
絵馬はみな白馬を描き春立てり	吉原 秀子
抽斗に夫の失せもの十二月	今井 繁子

短歌

〔桜川歌壇の会〕

老いどちの楽しむ声や寒日和	松崎 いま
初風や小高き宮の幸を受け	宮本 芳江
笹鳴や一碗の茶の深みどり	鈴木ノブ子
品格の富士をたずさへ初筑波	君島真理子
湯たんぼや赤子のごとく運びけり	笠倉 陽子
雪晴や小千谷縮の雪晒し	海老沢静夫
年の餅我が田我が白我が搗きし	海老沢幸子
梅ヶ枝の下の思惟仏指細し	竹林 てる
掘り上げし葱のほひの寒日和	大関 くに
久に聞く故郷の訛初電話	宮本 立男
豌豆に笹立ててやる寒日和	吉原 京子
分枝に登校一人寒日和	金子 弘毅
水仙の初花に逢う古刹かな	田崎 信子
差し馬の跑で流せる寒日和	飯山 昭

成人となりし孫より正月は一緒に呑むと新酒
送らる
黒田 青磁

俚謡

〔さくら俚謡会〕

十二支で午と読み 落語ではユーモアに 話し客も愉快に	榎戸 栄子
亡き友の残せし湯のみ見るたびに年末語るひ まをみつくて	佐藤 悦子
旧年を無事に年越し豆をまく又来る年に夢を いだきて	中原すみ子
残りもの勿体無いと「すみつかれ」初午に食 む先人の知恵	篠崎 貞之
手造りの味噌仕込まんと裸木に雪つもる日も 「頑張れ婆ちゃん」	皆川 米子

筑波ふところ春告げ鳥に梅花揺すられ出る笑
顔 つく志輝美

土蔵白壁 桃花に染まり客を迎える雛の家
一木みどり

老女の手作り雛様祭り若きあの日を懐かしむ
恩田きみ子

帯解く女の影まで映し春の障子の半びらき
稲葉 建正

服はパステル春風モード窓に飾った吊し雛
田 哲人

広報 さくらがわ 有料広告 募集中!

■サイズ 1枠45mm×85mm、2枠45mm×172mm
■掲載料 (月額) 1枠10,000円、2枠20,000円
※連続掲載で割引制度があります。

■問合先 秘書広報課 ☎58-5111・75-3111、内線1268

おもちやお売りください。

ご不要なおもちゃ、捨てる前にぜひお電話を！
こちらから、お伺いいたします。
ご予算により、高めに買取らせております。

ウルトラマン・怪獣・ブロック・戦隊ヒーロー・リカちゃん人形・
仮面ライダー・合体ロボット・LEGO・プラモデル・本など...

(仮) 子どもブロック研究所 増田俊伸
桜川市大國玉2056-1 10時～19時(不定休)

お電話はお気軽に ☎090-3040-4115

古物商許可・茨城県公安委員会 第40122000511号

桜川市自慢のこだまスイカ

●こだまスイカの里、桜川市
冷蔵庫に丸ごと入るお手ごろサイズの「こだまスイカ」。

“かわいい見た目”と“甘くて皮が薄い”のも特徴です。そんな「こだまスイカ」の国内有数の産地が、筑波山を東に望む茨城県の県西地域、桜川市と筑西市に広がります。

出荷は3月上旬から始まり、7月上旬まで続きます。また、近年は7月から9月末にかけて、皮が黒い「黒こだまスイカ」も生産されており、約半年間こだまスイカが楽しめます。



桜川市自慢のこだまスイカ

●こだまスイカの美味しい食べ方
“こだまスイカ”は、完熟で

食べ頃の時期に収穫しています。スイカはメロンのように追熟性を持った果物ではありませんので、買ってからご家庭で保存しても甘みが増すことはありません。できるだけ早く食べる方が美味しいので、新鮮なうちに召味ください。

※冷蔵庫で1〜2時間程度冷やしてから食べるのがオススメです。冷やしすぎに注意

●スイカの効能

スイカにはリコピンなどのビタミン類やカリウムなどミネラルが多く含まれており、疲労回復や抗酸化作用などさまざまな効果があります。特にカリウムやシトルリンという成分が多いことから、むくみの防止や腎機能の健全化に効果が高いといわれています。

●問合せ先／県西農林事務所 経営・普及部門 (☎0296-2419218)

おっきくなあれ!



市村 柚菜ちゃん(写真)
平成25年11月10日生
(久原地区)

パパママからひっこり
これからも元気いっぱい、
優しい子に育ってね☆

根本 紘樹ちゃん(写真左)
平成24年10月27日生

室星 灯花ちゃん(写真右)
平成25年11月20日生
(真壁町椎尾地区)

お母さんからひっこり
こうちゃん、こうかちゃん、
暖かくなったからお外で
たっくさん遊ぼうね。

※このコーナーに掲載を希望の方は、秘書広報課 (☎58-5111・75-3111) までお申し込みください。

広報 さくらがわ No.203 3月1日発行

発行：桜川市 / 月2回 (1日 / 15日)
編集：市長公室秘書広報課
TEL：0296-58-5111・75-3111(代表)
FAX：0296-58-5115
〒309-1293 茨城県桜川市羽田 1023 番地
ホームページ <http://www.city.sakuragawa.lg.jp>
Eメール info@city.sakuragawa.lg.jp



【表紙】

2月11日、「真壁のひなまつり」で、大和ホースパーク(会長 藤田 哲さん)とビューティサロンインダキミエ(石田君江さん)が、まちおこしに繋がればと、午年にちなんで、鈴を鳴らしながら馬で歩く「チャグチャグ馬コ嫁入り道中」を奉仕で開催しました。

当日は、ひなまつりで彩られた真壁の町中を、ホースパーク職員が白無垢を着てお嫁さんの恰好で馬に乗って歩きました。3月3日(月)にも開催を予定しています。



この広報紙は、環境保護のために古紙配合率100%の再生紙と植物性大豆油インキを使用しています